

令和7年度

県立広島大学・宇品公民館連携講座



宇品カレッジ

三島由紀夫の「本棚」

—翻訳文学を中心に—

昭和期を代表する作家の一人・三島由紀夫（1925-1970）の代表作を、彼の「本棚」（＝蔵書）に注目しながら読み解きます。

生前には2度にわたってノーベル文学賞の候補に挙げられ、その「天才」ぶりが強調されることも多い三島ですが、その文業は、古今東西の「名作」を「読む」という体験に強く支えられていました。

本講座では、こうした三島の「読書体験」と「創作行為」との関係に着目しながら『仮面の告白』と『春の雪』の2篇を読み直すことで、これらの小説の成立基盤や魅力を明らかにします。

第1回 『仮面の告白』の成立基盤

11月28日（金）

第2回 「姦通小説」としての『春の雪』

12月5日（金）

時間：10:30~12:00

会場：宇品公民館 4階 研修室1

定員：25人（先着順）

※日本の近代文学や三島由紀夫に興味がある方で、全2回通して参加可能な人

参加費：無料

申込み：11月5日（水）9:00より受付開始
宇品公民館へ電話・来館にて



県立広島大学
地域創生学科地域文化コース
講師 福田 涼さん

公益財団法人広島市文化財団 宇品公民館

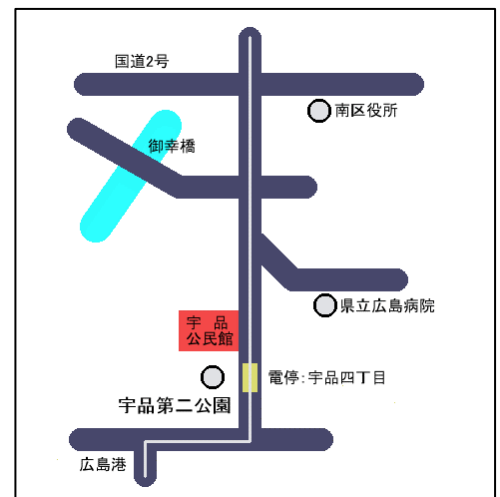
広島市南区宇品御幸四丁目1番2号

☎ 082-253-2529

開館時間 8:30~22:00

受付時間 8:30~17:15（木・金 8:30~21:00）

※休館日：火曜日、11月3日、11月24日



※本事業は、広島市高齢者いきいき活動ポイント対象事業です。

↑ 宇品公民館アクセスマップ